



2024年3月7日

各 位

本社所在地 東京都新宿区西新宿八丁目17番1号  
会社名 RIZAP グループ株式会社  
代表者 代表取締役社長 瀬戸 健  
コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス  
問合せ先 取締役 鎌谷 賢之  
電話番号 03-5337-1337  
U R L <https://www.rizapgroup.com/>

## 今後の財務基盤強化および成長投資加速の方針について

当社は、本日付で開示の「株式の立会外分売に関するお知らせ」にて記載の通り、当社普通株式の流動性の向上を目的に当社代表取締役社長 瀬戸健による当社株式に関する立会外分売を予定しておりますが、本取引および今後予定または検討している関連取引を含めた、当社の財務基盤強化および成長投資加速の方針につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

### 1. 今後の財務基盤強化および成長投資加速の方針について

当社は、本日付で開示の「株式の立会外分売に関するお知らせ」にて記載の通り、当社普通株式の流動性の向上を目的に、当社代表取締役社長 瀬戸健による当社株式に関する立会外分売を予定しております。

本立会外分売で当社普通株式を売却することにより得られた資金により、当社代表取締役社長 瀬戸健は、2023年8月14日に開示した第2回 募集新株予約権を行使することを予定しております。本募集新株予約権の行使により、当社の資本は最大で106億円以上の増加となり、大幅な財務基盤の強化が実現することとなります。(※1)(※2)

当社は、この資金を、当社の財務基盤強化のための施策ならびに chocoZAP 事業の成長投資資金等の調達手法のひとつとして位置付けております。今回の一連の取引による資金調達により、2024年2月14日に改訂を行った中期経営計画における今後3年間(2025年3月期から2027年3月期まで)における400億円の投資計画の一部を確保するとともに、来期(2025年3月期)上期において chocoZAP 事業の成長投資を前倒しして実行することが可能となり、その結果、chocoZAP 事業の成長がさらに加速し、中期経営計画の達成の蓋然性が高まるとともに、中長期的な収益拡大ならびに企業価値の向上につながる見通しです。

### 2. その他 中長期的な企業価値向上に向けた方針について

当社は、中長期での持続的な成長および企業価値のさらなる向上を目指すため、東京証券取引所プライム市場への新規上場申請に向けた準備に着手しており、上記一連の資本政策の一環として本立会外分売を行うことで、当社の財務基盤強化に加えて当社普通株式の流動性の向上につながるものと考えております。

(※3)

また、当社は、東京証券取引所プライム市場への新規上場申請に向けた必要な施策の一環として、関連当事者取引の解消のため、2023年8月14日及び2024年1月29日に実施した、代表取締役社長である瀬戸健の資産管理会社であるCBM株式会社からの資本性劣後ローンの返済を今後検討してまいります。(※4)

以上

- ※1：本新株予約権の行使条件としては、割当日から1年が経過するまでの四半期の連結営業利益が一度でも黒字化を達成した場合にのみ本新株予約権を行使することができるとしております（2023年8月14日公表「第2回 募集新株予約権の発行に関するお知らせ」を参照）。当社は2024年2月14日に公表した決算発表資料の通り、2024年3月期第3四半期において黒字化を達成しております。
- ※2：本新株予約権の割当数は55,000,000株であり、権利行使価額194円を乗じた出資額は最大で10,670,000,000円となります。
- ※3：現時点では、東京証券取引所プライム市場への上場申請日や上場承認日は未定であり、また、不確定な要素も含まれておりますので、新規上場申請に向けた準備を中止する可能性があります。当社の新規上場申請が株式会社東京証券取引所の承認を受けられるかどうかにつきましても、何らかの理由で新規上場要件が満たされない際には、認められない場合があります。
- ※4：本資本性劣後ローンは弁済期日を期限の定めなしとしておりますが、当社が、予め又は同時に、借入先または借入先代表者から、当社の連結財務諸表に適用のある会計基準において資本として取り扱われる方法によって、任意弁済する元金およびその経過利息の総額以上の金額の資金調達を行うことを条件に任意弁済を可能としております（2023年8月14日公表「長期借入金および資本性劣後ローンによる成長投資資金等の調達に関するお知らせ」及び2024年1月29日公表「資本性劣後ローン等による成長投資資金等の調達に関するお知らせ」参照）。